

第11号 2016年7月発行

さんようおのだ文化



平成28年2月14日に琉球舞踊山陽小野田公演「琉球芸能への誘い」が開催されました。総勢44名が地謡の生演奏により、一部は古典舞踊、二部は創作舞踊で満席の観客を魅了しました。
(オープニング 宮廷舞踊「四つ竹」)

『特別展コレクター
二階堂蓮の巨匠原朝』
まだ薄暗い早朝、私達を乗せたバスは走り出した。
大分県の二階堂美術館は、麦焼酎で有名な二階堂酒造の創始者、二階堂蓮氏のコレクションである横山大観や川合玉堂等の日本画が展示されている。酒蔵を改装して作られた白壁の美しい建物で、館庭には万両の実が真っ赤に色づいていた。先ず最初に目に飛び込んできたのは上村松園の「桜下處女図」。枝垂れ桜の下、蝶と戯れる女性と幼児が描かれており、夢物語のように耽美的で今迄にない深い感銘を受けた。蓮氏が日本画収集をするきっかけとなった一枚である。心惹かれたのは大分県出身の福田平八郎の絵。どこにもありそうな日常の中の題材をモチ



(11月19日 二階堂美術館)

文化バス

『博多座の放浪記に参加して』
竹内 裕子
一月二十三日、予報では前日より寒波がくるといわれていてどうなるか心配でした。当日は雪も降らずラッキー！バス二台で博多座へ。生の舞台はやはりいいですね。舞台装置も素晴らしい、自分がその役に入り、涙し、笑い、感動しました。仲間由紀恵さんの演技も完璧でした。



(1月23日 博多座)

博多座

1つに、鋭い観察眼で描かれている。彼の描く茄子や鮎は味わい深く、色彩の輪郭はあざやかで生き生きとしていた。蓮氏の審美眼に魅了されたながら、月灯りに照らされた桜の絵や美人画等、お気に入りな心ゆくまで観てまわった。今回のような機会が無かったら、一生この地を訪れる事はなかったかもしれない。昼食後、杵築城下町を散策し、ちりめんじやこ等のお土産を抱え、大分の町を後にした。初参加の文化バスは思い出深い旅となった。

ごあいさつ 文化協会会長 中村 克衛

光陰矢の如く一年が経過しました。会員の皆様はそれぞれの分野において多大な成果を挙げられており、心から敬意を表します。

昨年の自主事業の文化バスは、11月に大分県日出町の二階堂美術館を訪れ、明治以降の日本画の大家、橋本雅邦、横山大観、下村観山ほか二十数名の作品を展覧し大変勉強になりました。このような大規模な催しは滅多に経験できません。次の1月の博多座の放浪記の観賞も大好評でした。2月の琉球舞踊山陽小野田公演は、近年にない盛況で観客を沸かせました。

今年度の自主事業としては、先ず、7月の茂山千五郎家 狂言名作公演です。山陽小野田市との共催で、小学生のワークショップも併催します。皆様のご後援を期待しています。文化バスも実りのある計画を立てねばなりません。秋には市民文化祭があります。山口県文化連盟も幅広く異分野の勉強を推奨しています。一層のご活躍をお祈りします。



林芙美子自身、小さい時から恵まれず、大人になり男性との縁にも恵まれず、知恵をだし、逆境を乗り越えてたくましく生き抜く体験が、人に感動を与える小説を書けたのですね。自分の幸せを感じました。心豊かに岐路へ着きました。事務局の方々がとうございました。

平成28年度 文化協会事業計画

1. 主な会議の開催について

役員会・常任理事会	平成28年4月26日(火)	文化会館
総会・理事会	平成28年5月21日(土)	文化会館
企画実行委員会、文化協会だより編集委員会、自主文化事業実行委員会、各部門部会など随時開催		

2. 主な事業実施について

(1) 自主文化事業

開催日	事業名	会場
7/8(金)	茂山千五郎家 狂言名作公演	不二輸送機ホール

(2) 文化バス(個人会員限定)

開催日	行き先	備考
6/9(木)	太宰府方面【九州国立博物館(始皇帝と大兵馬俑)・福岡市美術館(近代日本の静物画)】	45名
1/14(土)	博多座の集い【天使にラブソングを〜シスター・アクト〜】	45名

(3) 第12回山陽小野田市民文化祭

開催日	事業名	会場
9/4(日)	川柳大会	市民館(団体会議室)
10/2(日)	市民音楽祭(合唱・合奏部門)	市民館(文化ホール)
10/9(日)	日本舞踊祭	不二輸送機ホール(大ホール)
10/16(日)	邦楽大会	市民館(文化ホール)
11/5(土)	市民茶会	市民館(和室)
11/5(土)～6(日)	華道展	市民館(体育ホール)
11/6(日)	洋舞演劇祭	不二輸送機ホール(大ホール)
11/11(金)～13(日)	展覧会	市民館(体育ホール)
11/13(日)	短歌大会	小野田商工センター
11/13(日)	俳句大会	高千帆福祉会館

(4) 児童生徒書道展

開催日	事業名	会場
1/26(木)～2/1(水)	第12回山陽小野田市児童生徒書道展	おのだサンパーク

(5) 文化協会だより「さんようおのだ文化」第11号 平成28年7月発行予定

(6) 割引対象事業

開催日	事業名	会場
7/8(金)	茂山千五郎家 狂言名作公演	不二輸送機ホール

新規会員募集

山陽小野田市文化協会の活動に賛同していただける会員を募集しています

●会費	個人会員 年額(1口) 1,500円
	団体会員 年額(1口) 5,000円
	賛助会員 年額(1口) 5,000円

●会員の特典

- ・個人会員・賛助会員の方は、割引対象事業の会員割引が受けられます。
- ・会報その他事業案内をお届けします。
- ・個人会員限定の文化バスの交通費が割引されます。

●申込方法

加入申込書にご記入の上、会費を振込または事務局で直接納入してください。

功労賞・奨励賞 おめでとうございます！

☆茶華道部門	☆日舞部門	☆邦楽部門	☆音楽部門
木村 淑子	岡本 紘子	大正琴琴智会	レインボーラ
☆洋舞・その他部門	ダンススクール	リンデンバウム	

文芸部門

俳句

山陽小野田市市長賞
海峡の大渦小渦鳥渡る

松山 大耳

山陽小野田市議会議長賞
問はざれば交わす言葉のなき

夜長 小河 充子

山陽小野田市教育長賞
花十日手塩一年菊の鉢

瀬口美知代

山陽小野田市文化協会会長賞
ふなおさの唄軽やかに水の秋

名和田 勝

山陽小野田観光協会会長賞
蟋蟀や開け閉め縋き農具小屋

益田満寿美

山陽小野田俳句協会会長賞
ふるさとを音を忘れし星月夜

川端 健一

川柳

山陽小野田市市長賞
風の音絵皿に溶いて蝉しぐれ

高橋 鬼焼

山陽小野田市議会議長賞
澄みきつた空だ罪人まで許す

有海 静枝

山陽小野田市教育長賞
お祭りを親子で掴む肩車

清原いさむ

山陽小野田市文化協会会長賞
静寂のともしび弥陀の手にすが

野村 穂波

小野田世面多留川柳会賞
いろいろとお世話になってありがたう

前野 満夫

短歌

山陽小野田市市長賞
小柄なるわが子が胸を張れる

場所組体操のてっぺんに立つ

奥嶋 明子

山陽小野田市議会議長賞
尋め行きてあまたの思ひ告げん

かな愚痴聞き地蔵のおはすと聞

けは 林 歌子

山陽小野田市教育長賞
川岸の清掃終えて児童らが放す

稚鯉に光る夏の陽

田中カズ子

山陽小野田市文化協会会長賞
回天の発射場の跡に荒波の打ち

つける首兵士の叫び

梅本ゆき子

美術工芸部門

「市民文化祭について」

美術工芸部門 原田 頼邦

合併して十一回目の市民文化祭。展覧会は市民館体育ホール

「お世話になった方々への感謝」

大正琴琴智会 眞崎 智子

平成元年に小野田地区、山陽地区を中心に大正琴教室を高千帆福祉センター、厚狭公民館を

歌謡の部



(9月20日市民館文化ホール)

「市民音楽祭をふりかえって」

実行委員長 たか ひろし

市民音楽祭（歌謡部門）発表会、昨年は九月二十日（日）に

市民館文化ホールにて開催し、多数ご来場を賜り、誠に有難う

ございました。参加された各教室、団体の皆様には、心温まる

熱唱でステージを盛り上げていただき、また、その一方では、

様々な裏方の仕事も積極的に担っていただきました。

今年は歌謡部門として結成から五年を数えます。これを期に

より一層の結束とカラオケ文化の向上を目指して、更なる飛躍

に努力精進していく覚悟です。

同時に忘れてはならないのは、やはり東日本大震災から五年と

いうことです。唄えることに感謝し、歌を通して歌の力で少し

でもお役にたてれば…と考えています。



(10月11日市民館文化ホール)

日舞部門

「市民文化祭にむけて」

猿若流重那乃会 猿若 夕姫

舞踊協会の各流派は、毎年十月の市民文化祭にむけて稽古に

励んでいます。私自身、舞台を努める度に、稽古の積み重ねの

大切さを痛感していますが、各流派と協力して作り上げていく

一体感が楽しくもあり、刺激にもなっています。

ただ、日本舞踊といえますと

なじみにくい印象があり、市民のみなさまに興味を持っていた

だけの舞台づくりを目指すとともに、今後、日本舞踊を始めた

い方が増えますよう、私たちも精進し、魅力的な活動をしてい

きたいと思っています。

邦楽部門

「お世話になった方々への感謝」

大正琴琴智会 眞崎 智子

平成元年に小野田地区、山陽地区を中心に大正琴教室を高千帆福祉センター、厚狭公民館を

「お世話になった方々への感謝」

大正琴琴智会 眞崎 智子

平成元年に小野田地区、山陽地区を中心に大正琴教室を高千帆福祉センター、厚狭公民館を



(10月30日～11月1日市民館体育ホール)

で展示です。常日頃から切磋琢磨し、腕を磨き製作した作品の発表です。私も永年、厚狭図書館絵画教室「絵を楽しむ会」で勉強した成果物を、うまい、下手はともかくも堂々と毎回展示しています。

協会の文化活動の成果物、日舞部門、美術工芸部門ほか、どの部門でも一生懸命に練習し、また創作した成果を誰かに観て、聴いてもらいたいのです。その発表の場が市民文化祭です。多くの人の参加を願います。市内にミュージアムがあるといいですね。



(大正琴琴智会)

お借りし開催しました。大正琴の音色を初めて奏で、多くの愛好家が生まれ育ちました。大正琴指導者を四名育て、現在、山陽小野田市内で教室を持たれた各々活動されておられます。

平成十五年オーストラリアシドニー市においてジャパンフェスティバルが開催され、山口県代表として、オペラハウスでの演奏は、私の心の宝物となっております。

小野田邦楽協会、故大田和会長から、これからは若い人を育てなければいけないと言われ、私を皆さまへ紹介していただいたことが昨日のように思い出されます。

茶華道部門

「年々の歩みを大切に」

華道家元池坊春光会

森本 貞子

「山陽小野田市民文化祭華道」

洋舞・その他部門



(ダンススクール・リンデンバウム)

「洋舞・その他部門の近況報告」

リンデンバウム 富田 輝美

我が部門は、洋舞や演劇、社交ダンスに太極拳、かるた協会

やシネマクラブ等々、二十二団体が所属し、各団体それぞれ発表会や大会などを開催し、活発に活動しています。

「洋舞演劇祭」には、秋に五

団体が出演し、春には三団体が

出演予定です。日ごろの練習の

成果を発表できることが大変嬉

しく、洋舞演劇祭を目標に日々

練習に励んでいます。

さて、私が代表をしているリ

ンデンバウムは、八月に行う『第

十五回洋舞発表会』と、十一月

に行われる『山口県洋舞フェス

ティバル』の準備やレッスンに

汗を流しています。会場は『不

二輸送機ホール』です。ご鑑賞

いただきますと幸甚です。

自主文化事業

琉球舞踊山陽小野田公演

山陽小野田地区舞踊協会

会長 信次 満知子

今年度の自主文化事業に、舞

踊協会の部門部会で提案した

「琉球舞踊」が取りあげられま

した。舞踊団の方々のご厚意に

より、当初の予定より多人数で、

また、格安の費用で公演してい

ただいたことに感謝いたしてお

ります。

華やかな舞台といった宮廷

舞踊に始まり、若い男性の迫力

ある棒術や武の舞。本土の獅子

とは少し違って、可愛らしいコ

ミカルなお獅子に癒されました。

創作舞踊や島唄も素晴らしいか

つたです。

最後に、カチャーシーという

踊りで客席のみなさんも立たれ

舞台いっぱい、客席通路いっぱ

いに楽しくはじけて幕となりま

した。入場者の方々も、今まで

にない大入りで、舞踊協会の皆

さんを始め、ご協力くださった

皆様方に感謝申し上げます。



(11月7日～8日市民館体育ホール)

音楽部門

「市民音楽祭に出場して」

小野田吹奏楽団 永谷 真史

十月四日、市民音楽祭が不二

輸送機ホールで開催されました。

市内で活動されている団体、あるいは個人の方々が出場され、さまざま、そして素晴らしい音楽を演奏し、それぞれの練習の成果を披露されました。

われわれ小野田吹奏楽団は、吹奏楽を主な活動形態としており、今回のように、より小さなアンサンブル的な形で演奏することはそう多くはありません。緊張で喉がカラカラになりながらの演奏でしたが、忘れられない思い出になりました。

(10月4日文化会館大ホール)